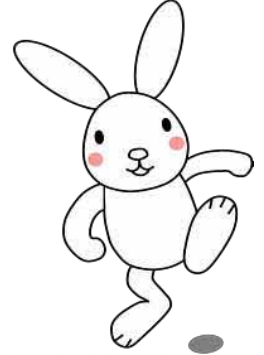


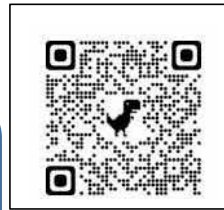
吹田市内の CO₂ 多量排出事業所 について

調べてみました!

詳しくは、「アジェンダ 21 すいた」のHP 内の本編 『～事業所 CO₂ 削減調査活動報告～』 を見てください



アジェンダ 21 すいたHP



吹田市は、令和 3 年（2021 年）2 月 10 日に **気候非常事態宣言** を行いました。そして、「吹田市第 2 次地球温暖化対策新実行計画」では、「令和 10 年度（2028 年度）までに、市域の年間温室効果ガス排出量を平成 25 年度（2013 年度）比で **50%以上削減** する。」と目標を設定しました。

そこで、吹田市のオープンデータに環境省の開示データを合わせて、2016～2018 年度の「吹田市内の温室効果ガス多量排出事業所 30 カ所」の数値を得ました。

	30カ所の総排出量	市内総排出量	基準年との比較
2013 年度		2,232,000	基準年
2016 年度	373,023	2,036,000	-9%
2017 年度	325,274	1,807,000	-19%
2018 年度	312,223	1,502,000	-33%
2028 年度目標		(目標)1,092,000	-50%
2050 年度目標	持続可能な生活様式が定着して実質ゼロ		実質ゼロ

(市内総排出量は「吹田市環境白書 2021」より出典)

(t-CO₂ /年)

「吹田市内の温室効果ガス多量排出事業所」30 カ所で、CO₂ 市内総排出量の 18-20%を占めています。またこの 30 カ所は産業部門・業務部門にまたがり、その排出量は（産業・業務部門の）約 33～46%を占めています。

「吹田市内の温室効果ガス多量排出事業所」30 カ所の第 1 位は「国立大学法人 大阪大学吹田地区」、2 位は「吹田市 資源循環エネルギーセンター」、3 位は「アサヒビール（株）吹田工場」でした。

詳しくは本編を見て頂きたいのですが、どこも積極的に CO₂ 削減に取り組み、少しずつ減ってきている面もあるものの、まだまだ目標までには課題があることも分かりました。

電力を調達する際に、**再エネ比率が高い環境に配慮した電力**を調達できれば（電力供給を受けている電力会社の）CO₂ 排出係数が減り、**CO₂ 排出量を大幅に減らすことができる**一方で、様々な事情でそれができないと、**省エネ**などでエネルギー消費を一定減らす事はできますが、それ以上の CO₂ 削減は難しい事が分かりました。又、ごみ処理については、プラスチックごみの削減も CO₂ 削減のために大切となってくる事が分かりました。

この調査を通じて、**CO₂ 削減を進めるためには、再生可能エネルギーをもっと大幅に広げていく事が必要**だと改めて感じました。様々な先行事例から学び、地域から再生可能エネルギーを広げてゆく事に、もっと取り組んでいきたいと思いました。（2023 年 4 月）

*詳細は「アジェンダ 21 すいた」のHP内の本編『事業所 CO₂ 削減調査活動報告』を参照。